※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　社会科

教科	地理歴史	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新公共」　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

その日のニュースをプリントにして配布するなどし、生徒の興味を喚起するように努める。
　生活に役立つ知識を身につけられるよう、具体的な事例や法律を取り上げる。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断できる力を身につける。自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，自立した市民として必要な能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的･多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち	社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。	a:人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b:公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考察している。 b:自身は地域社会などの様々な集団の一員として生きる当事者であり，国家・社会などの公共的な空間を他者と協働しながら作ることについて多面的・多角的に考察している。 b:公共的な空間をつくるうえで解決すべき現代の諸課題について考察している。 c:自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について探究している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。	a：個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b：人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能について考察している。 b：倫理的価値の判断において，個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法について考察している。 c：現代の諸課題について、未来をよりよく生きていくうえで自らも他者も共に納得できる解決方法について探求している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	公共的な空間における基本的原理	古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，公共的な空間における基本的原理を理解する。	a：人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 a：人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 b：公共的な空間における基本的原理について，個人と社会との関わりを基に多面的・多角的に考察している。 c：公共的な空間における基本的原理を基に，現代における諸課題の解決について探求している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
２学期	法的な主体となる私たち	法やルールを定める時には，どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。 個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと，国民が果たすべき責任を理解する。	a：法や規範の意義と役割について，理解している。 a：司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b：現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取ろうとしている。 b：自立した主体として，合意形成や社会参画を視野に入れながら，法や規範にかかわる課題の解決に向けて考察している。 b：司法参加の意義について，現代の諸課題について考察している。 c：憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて探究している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	政治的な主体となる私たち	よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 民主政治を推進するために，私たちが果たすべき責任を理解する。 主権国家が並び立つ国際社会は，どのように成り立っているのかを理解する。 日本国憲法の平和主義の下，私たちが果たすべき責任を理解する。 国際平和を実現するために必要な日本の役割を理解する。	a：政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b：政治参加と公正な世論形成に向けた現代の諸課題について考察している。 b：国際社会と国家主権に関する現代の諸課題について考察している。 b：日本の安全保障と防衛に関する現代の諸課題について考察している。 c：現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 c：国際社会の変化と日本の役割について，現代の諸課題について探求している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
３学期	経済的な主体となる私たち	少子高齢化による労働力不足が問題となるなか，活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。 グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において，将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。 公正で自由な経済活動を通して，市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。	a：雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：社会の変化と職業観に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 a：財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		経済において，金融市場はどのような役割を果たしているのか理解する。 少子高齢化が進むなかで，財政や社会保障を持続可能なものにするために，政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。 経済がグローバル化するなかで，貧困や格差などの問題を乗りこえ，すべての人が幸福に暮らすために，国際社会や私たちがどうあるべきか考える。 雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考察している。	を理解している。 a:経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:社会の変化と職業観について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考察している。 b:市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 b:財政の役割と社会保障について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 b:金融のはたらきについて，現代の諸課題を考察している。 b:経済のグローバル化について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 c:公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることについて探究している。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度